

山形県医師会女性医師支援活動報告

山形県医師会 常任理事
神村 裕子





面積: 9323.15平方キロメートル
 人口: 1,122,957人
 男539,632人
 女583,295人

主な日本一

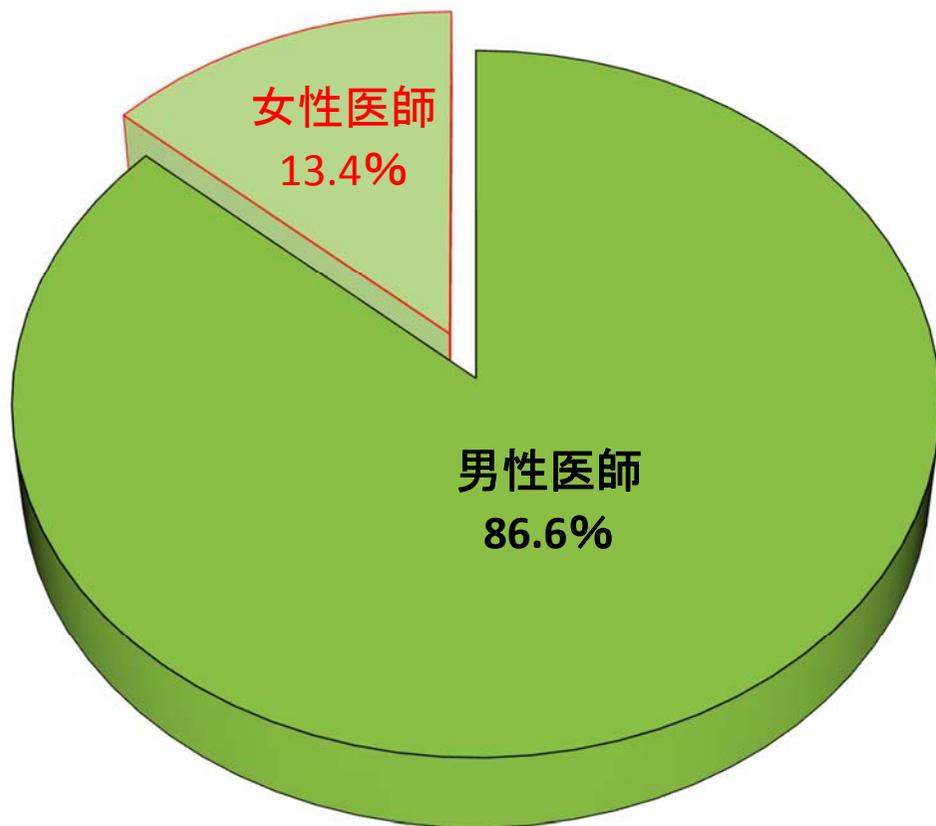
- ・三世代同居率
- ・さくらんぼ収穫量
- ・西洋なし収穫量
- ・わらび生産量
- ・たらのめ生産量
- ・自動車保有数量(千世帯当たり)
[二人以上の世帯]
- ・ボランティア活動の年間
行動者率(10歳以上)
- ・年間1世帯当たりのさといも、
こんにゃく、中華そば(外食)の
支出金額

※山形県HPより

**4つの二次保健医療圏
に分かれている**

35(13市19町3村)市町村

男女別会員数割合



会員数 1,764人(準会員含む)

男性医師:1,527人(86.6%)

女性医師: 237人(13.4%)

山形県の女性医師支援組織



県からの業務委託により山形県医師会の中に事務局があります

山形県医師会では女性医師支援のための特別の部門(女性医師支援センター等)は持たず、平成24年度より**勤務医部会**の事業項目としている。また、県の地域医療対策課との連携を強化している。

山形県医師会の取り組み①

新しく医師になった初期臨床研修医に対して医師会をよく理解していただくために、平成17年度から県内の臨床研修病院へ本会担当理事が直接訪問しオリエンテーションを実施している。

研修病院名	初期研修医数	医師会入会者数	加入率
山形大学医学部附属病院	61名	1名	1.6%
山形県立中央病院	33名	10名	30.3%
山形市立病院済生館	14名	0名	0%
恩賜財団済生会山形済生病院	6名	6名	100.0%
山形県立新庄病院	0名	0名	0%
日本海総合病院	22名	6名	27.3%
鶴岡市立荘内病院	6名	5名	83.3%
公立置賜総合病院	12名	0名	0%
米沢市立病院	2名	0名	0%
合計	156名	28名	18.0%

山形県医師会の取り組み②

山形県が主催となって行われる、山形県臨床病院ガイダンスにおいて本会の役員が出席して、本会の取り組み等について説明を行っている。



山形県臨床病院ガイダンス

平成29年5月21日(土) 12:30~16:30



参加人数

研修医26名(男20名・女 6名)

医学生45名(男28名・女17名)

山形県医師会の取り組み③



山形県ドクターバンク

勤務時間に制約のある女性医師、病院等を離退職した医師、本県出身でUターンを希望する医師が勤務条件にあった本県の医療機関に円滑に就業できるように、インターネットにより、平成18年11月から実施している。平成28年度は1件の新規求職登録があり、求職医師と求人医療機関との調整を図った結果、1件の採用が決定した。

項目 年度	求人数			求職数				紹介数			就職数		
	常勤	非常勤	小計	常勤	非常勤	小計	うち新規	常勤	非常勤	小計	常勤	非常勤	小計
平成24年度	13	2	15	9	9	18	10	4	2	6	1	1	2
平成25年度	2	4	6	10	8	18	3	2	0	2	0	1	1
平成26年度	17	0	17	10	6	16	1	0	0	0	0	0	0
平成27年度	7	1	8	10	6	16	2	1	1	2	0	1	1
平成28年度	8	2	10	9	6	15	1	0	1	1	0	1	1

山形県医師会の取り組み④

山形県女性医師支援ステーション



山形県内で働く女性医師をサポートするため、各種相談に対応するほか、キャリアパス、子育て、介護支援、イベント等の情報発信を行い、女性医師が必要とする情報を一元的に提供すること、女性医師が将来に渡って家庭生活と仕事を両立しながら、医師として働き続けることができる環境づくりを進めることを目的として、平成27年9月に開設された。

この事業は本会が山形県より委託を受け、専用電話回線、メールまたはFAXによる相談対応、ホームページ上での女性医師・女性医学生方が必要とする各種情報提供を行ったり、インターネット上で交流できる掲示板を設置しております。また、定期的に女性医師のインタビューを掲載して、医師を目指す女子学生や若手女性医師へのメッセージの発信を行っている。

山形県女性医師支援ステーション

YJISS

山形県女性医師支援ステーション

山形県女性医師支援ステーションによること。
当サイトでは、女性医師が必要とする情報の提供、
専門の相談窓口の案内をしています。



女性医師インタビュー

平成28年度は4名の女性医師の先生方にインタビューさせていただき、育休の過ごし方や、復職する時の不安、病院の支援制度、後輩の女性医師や女子医学生へのアドバイス等、インタビュー記事にはたくさんの貴重な経験談や情報が掲載されている。

まとめ 山形県医師会の方向性

- 女性医師支援は今後とも県の事業に協力していく
ドクターバンク, 女性医師支援センター, 病児保育
- 女性医師に限らず、医師が就労の問題に直面した時に、一番力になるのは医師会である。(そんな医師会でありたい)
- そのためには医師会加入率を上げることが重要で、大学との協力関係は欠かせない
- 医学部臨床教授および医師会役員10名余りよりなる医師会組織強化委員会を立ち上げた(2月5日)

ご清聴ありがとうございました



平成31年度全国医師会勤務医部会連絡協議会開催予定